

第6回 医学歴史館「医学歴史のうねり」セミナー

世界をリードする 九州大学医学部のコホート研究 ～半世紀をこえた歩みと将来の展望～

九州大学医学部におけるコホート研究（前向き疫学研究）の歩みを中心に、コホート研究の歴史的～世界的な意義を明らかにし、国民の将来の健康・医療の増進に寄与することを目指して、セミナーおよびシンポジウムを開催いたします。

日時 平成30年

11月3日(祝・土)

14:00～16:30

参加費
無料

会場

九州大学医学部百年講堂・中ホール

講演① わが国のコホート研究の歴史

九州大学名誉教授（元環境医学教授）
（公社）久山生活習慣病研究所・代表理事 清原 裕

講演② 久山町研究 —58年目を迎えて—

九州大学医学部 衛生・公衆衛生学分野・教授 二宮 利治

講演③ Fukuoka Stroke Registry (FSR)

九州大学医学部 病態機能内科学教授 北園 孝成

講演④ 油症の50年とその治療 —ダイオキシン類への対処法—

九州大学医学部 皮膚科学教授 古江 増隆

講演⑤ ウィルス肝炎：その克服の歴史

九州大学名誉教授（元総合診療科教授）
原土井病院・総合診療センター長 林 純

講演⑥ 特別提言

国立循環器病研究センター名誉総長
九州大学医学部元第二内科教授 尾前 照雄

総合討論（シンポジウム） 司会：清原 裕、林 純

連絡先 九州大学医学歴史館 Tel: 092-642-4856

共催 九州大学医学部、九州大学医学部同窓会、九州大学医学歴史館

協賛 福岡市、糟屋郡久山町、福岡市医師会